

# 事務事業評価シート

(H.28)No.	6119	(H.27)No.	6119
-----------	------	-----------	------

事務事業名	青少年補導センター事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	西山 正彦	

会計区分	事業コード	508503
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	青少年健全育成事業	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 青少年対策費	青少年補導センター事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	3	防犯
	小施策	2	青少年の非行防止
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
青少年の非行や犯罪防止、事件・事故から守るための環境づくりを進めています。
事業内容
元教職員の補導員を中心に、関係機関との連携と市民ボランティアの協力により、全市的に青少年の補導活動や安全対策、有害環境浄化活動、相談業務の充実に取り組みます。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談(35件)対応を非常勤補導員が交代で実施	非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を非常勤補導員が交代で実施	非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を非常勤補導員が交代で実施	非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を非常勤補導員が交代で実施	非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を非常勤補導員が交代で実施

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	451千円	528千円	528千円	528千円	528千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 451	528	528	528	528
人工数					
職員	0.35人	0.35人	0.35人		
臨時職員等	3.31人	3.31人	3.31人		
②概算人件費	(0千円) 8,287千円	8,287千円	8,287千円	0千円	0千円
①+②総事業費	(0千円) 8,738千円	8,815千円	8,815千円	528千円	528千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが必要な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
・地域、学校、市民団体等と連携し、街頭補導、安全パトロール、有害環境浄化等、子どもの安心安全と青少年の非行防止に取り組ましました。 ・学期ごとに、青少年補導センターだよりを発行し、情報啓発にも取り組んでいます。	関係機関との連携を強化し、相談活動の充実、不審者情報への迅速な対応等に取り組んでいます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	青少年の非行防止活動により、健全な環境づくりに寄与しています。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	市民活動団体等と連携し、名張少年サポートふれあい隊活動、有害環境一掃浄化活動等を実施しています。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
青少年を取り巻く環境が著しく変化中、青少年の非行防止や安全確保の重要性は高まっており、一層の取組強化が求められています。	・第二次名張市子ども教育ビジョン ・ぱりっすくすく計画(第3次)